

株式会社 excellent

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年11月1日～ 2023 年10月31日)



発行日： 2023年11月11日

目 次

項 目	ページ
経営理念・経営方針・品質方針	3
環境経営方針	
組織の概要	4
事業・製品の紹介	
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	7～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	
これまでの環境活動の紹介	



＜経営理念＞

私たちは、誠実さ、礼節を重んじ、鉄道車両部品、板金加工を通じて社会に必要とされ、喜んで頂ける社会貢献と、社員の幸せを目指し続けます。

＜経営方針＞

適正な製品 お客様の要求を満たす適正な製品を送り出すこと。
信頼の品質 品質の均一化を図り維持しお客様の信頼を得ること。
新しい挑戦 お客様が求める技術、新しい物に挑戦すること。

＜品質方針＞

お客様のニーズに合った信頼されるものづくりに勤めます。法的及びその他の要求事項を順守します。当社の品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

鉄道車両部品の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社が一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 歩留まり向上により、廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 積載率向上により、輸送に伴う環境負荷の低減を推進します。
- 6 . 鉄道車両部品の製造を通じ、社会の環境負荷削減に貢献します。
- 7 . 定期的な5S活動により、効率よく作業できる職場環境づくりを推進します。
- 8 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2020年8月1日

代表取締役 秋本 倫宏

□組織の概要

更新日：2022年11月11日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 excellent
代表取締役 秋本 倫宏

(2) 所在地

本社・工場 大阪府東大阪市稲田新町2丁目5番6号
第二高井田工場 大阪府東大阪市高井田中3丁目10番18号
第三東工場 大阪府東大阪市稲田新町2丁目6番2号
第四みなみ工場 大阪府東大阪市稲田新町2丁目6番31号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務企画部 杉本 TEL：06-4307-3785
担当者 総務企画部 杉本 TEL：06-4307-3785

(4) 事業内容

鉄道車両部品製造

(5) 事業の規模

生産高（部品点数） 44,902 点（2022 年度実績）

	本社・工場	第二高井田工場	第三東工場	第四みなみ工場	合計
従業員 名	36 名	2 名	7 名	4 名	49 名
延べ床面積 m ²	2046.1 m ²	937.2 m ²	528.4 m ²	552.5 m ²	4,064 m ²

(6) 事業年度

11 月 1 日 ~ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 excellent
対象事業所：本社・工場
第二高井田工場
第三東工場
第四みなみ工場

対象外：なし
活動：鉄道車両部品製造

□事業や製品(商品)の紹介



JRW227系 電線支え



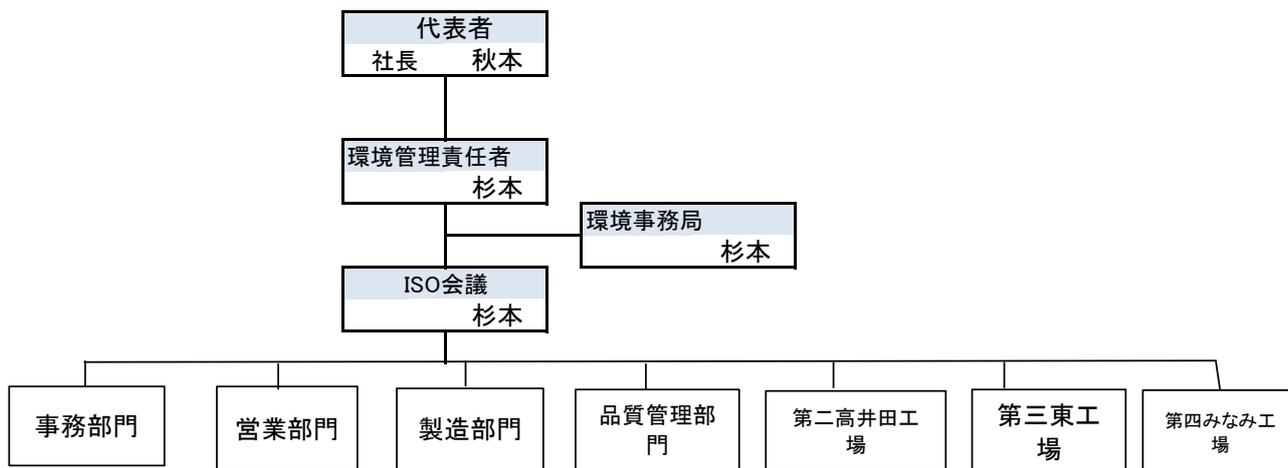
カイロ3号線 転線箱



JRW227系 パンタ受台

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年11月11日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、ISO会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
ISO会議	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	304,690	338,865	324,937
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,027	2,219	2,060
金属物排出量(有価物)	千円	8,077	10,389	10,949
水使用量	m ³	567	451	370

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 関西電力の2017年度調整後排出係数

※二酸化炭素排出量は、全社工場(本社・工場、第二～第四みなみ工場)の電気及び自動車燃料を含む。

□環境経営目標及びその実績

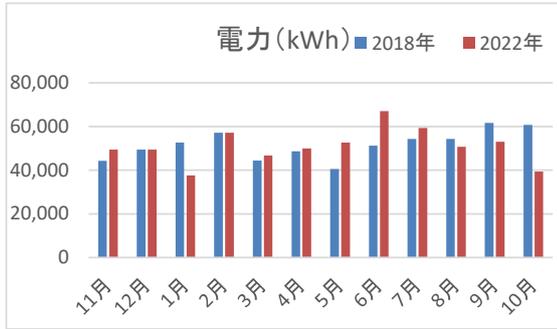
項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年	2024年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (本社・工場)	kg-CO ₂	258,265	255,682	255,971	×	253,099	250,517
	基準年度比	2018年	99%	99%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減(全社)	kg-CO ₂	7,876	7,797	9,067	×	7,718	7,639
	基準年度比	2018年	99%	115%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	266,140	263,479	265,037		260,818	258,156
一般廃棄物の削減	kg	2,139	2,118	2,060	○	2,096	2,075
	基準年度比	2018年	99%	96%		98%	97%
金属屑の削減	千円	8,648	8,561	10,949	×	8,475	8,388
	基準年度比	2018年	99%	127%		98%	97%
水道水の削減	m ³	389	385	370	○	381	377
	基準年度比	2018年	99%	95%		98%	97%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	全体を通しては基準年よりは低い使用量になっているため、次回は目標達成できるように会議での声掛けを積極的に行う。基準年が低くなったのは、ノー残業デーの確立ではないかと思われる。
・クールビズ、ウォームビズなどの呼びかけ	○	
・太陽光発電、LED照明の採用	○	
・不要照明の消灯	○	
・デマンド管理	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



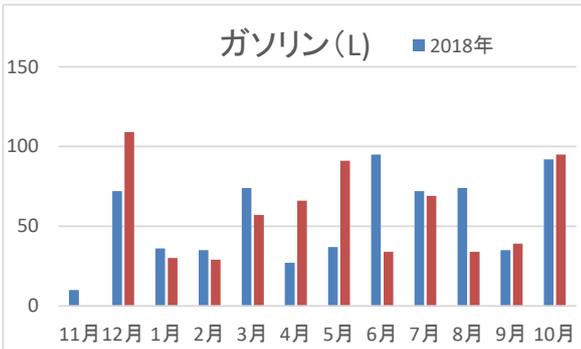
取組紹介欄

デマンド管理



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2018年	44,279	49,384	52,664	57,175	44,427	48,664	40,548	51,234	54,298	54,298	61,601	60,708
2022年	49,376	49,394	37,610	57,155	46,679	49,959	52,705	67,098	59,389	50,664	52,978	39,363

自動車燃料による二酸化炭素削減(全社)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年と比べるとかなり高い推移となるが、昨年度の使用量(9639Kg-CO2)と比べると、減らしているため、次回は目標達成できるように引き続き、注意喚起する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・ハイブリッド車、低燃費車の導入	○	

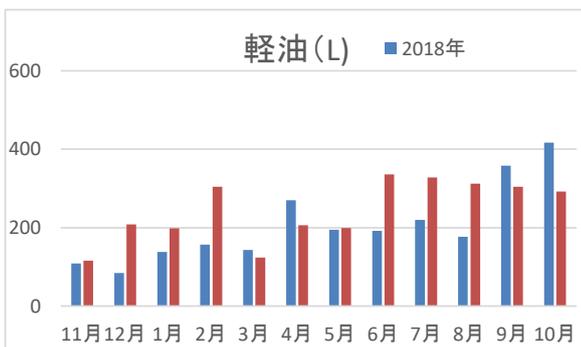


取組紹介欄

エコドライブ
ポスター
貼り付け



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2018年	10	72	36	35	74	27	37	95	72	74	35	92
2022年	0	109	30	29	57	66	91	34	69	34	39	95

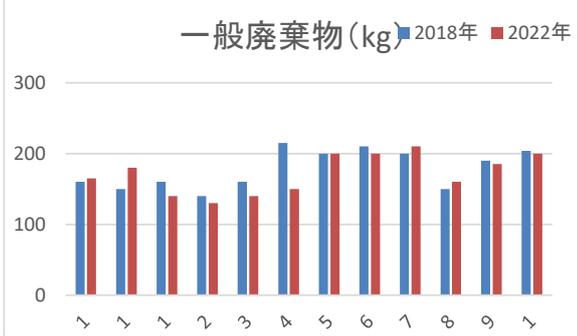


取組紹介欄



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2018年	109	84	138	157	143	270	195	192	220	177	358	417
2022年	116	208	198	304	124	206	199	336	328	312	304	292

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期は目標達成できたため、引き続き取組を行う。 来期から新しい案件が始まり、より図面の印刷量が増えるため、紙の使用量について特に注視していく。
・タブレットの導入により図面、文書の電子化	△	
・両面コピー機の使用	○	
・裏紙の活用	○	
・梱包材の再利用、簡易梱包の推進	○	



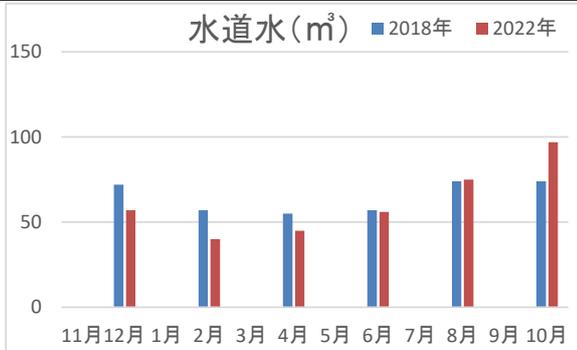
取組紹介欄

再利用する
梱包材管理を
明確化した



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2018年	160	150	160	140	160	215	200	210	200	150	190	204
2022年	165	180	140	130	140	150	200	200	210	160	185	200

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期は目標達成できたため、引き続き取組を行う。 来期から新しい工場ができるため、目標達成できるように、声掛けを行う。
・ホースに手元バルブを取り付け、流しっぱなしを防いでいる	○	
・自動水栓取り付け	○	



取組紹介欄

手元バルブ
使用

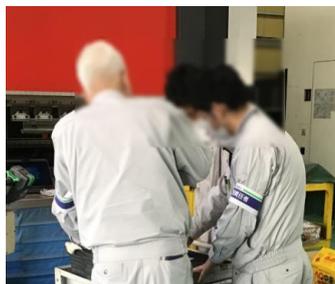


	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2018年	0	72	0	57	0	55	0	57	0	74	0	74
2022年	0	57	0	40	0	45	0	56	0	75	0	97

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	新しい不良システムを導入して、より検索しやすく過去の不良実績を振り返りやすくなった。今後もこれを活かして不具合ゼロを目指していく。
・稼働率向上	○	
・顧客クレーム削減	○	
・5S活動	○	

取組紹介欄

品質
パトロール



品質強化
月間ポスター



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

産業廃棄物は現在無し

□外部からの環境上の苦情・要望等

特にありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022/11/12(土)	■実施場所 当社
■参加者： 社員全員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 火災発生子防の説明・火災発生時の手順説明・緊急連絡先の説明 消火器置場の確認・消火器置場表の作成・避難経路の確認	
■評価： 社員全員が避難経路、消火器置き場の確認ができた。 火の消し忘れ防止のため喫煙所管理者を設定した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年11月10日

エコアクション21認証取得を受け、取り組み始めた活動を今後も継続するとともに、新たにできることがあれば社員一丸となって取り組んでいきたい。
また、火災発生のための避難訓練等は、社内の年間スケジュールに組みこみ、計画性をもって行えるようにしていきたい。また、今期は生産量に対し、エネルギー量が増加し目標達成×が目立つが、増築による影響かと考えられる。来期は現在の設備や環境をより活かして目標を達成できるような組織づくりを全社的にしていってほしい。

- 環境経営方針 変更なし 変更あり
- 環境経営目標・計画 変更なし 変更あり
- 実施体制他 変更なし 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

